

第2回観光立県ちば推進基本計画策定懇談会 主な意見

石上委員

- ・時代の変化がとても早いので、毎年評価していくのは良い。
- ・キャッシュレスについて、主な取組の方にも記載して進めてほしい
- ・「いつでも行ける千葉県」から「今行きたい千葉県」に変えていきたい。
- ・外国人労働者について、既に外国語が話せるので歴史等を教えれば即戦力になる。

加藤委員

- ・「地域の取組と役割」の各論部分が薄い。安房地域ではグリーンブルーツーリズムを支える農林水産業の高齢化が問題になっている。
- ・ICT やビッグデータについては2点。1つは精度。精度が悪いと、外国人が計算上で過小になり、インバウンドに投資する動機がなくなってしまう。もう1点はスピード。欧州では国レベルで翌日には入込が出るところもある。インターチェンジの数字だけでも分かれば大きい。
- ・人材育成の部分で「観光事業者への積極的な支援」に盛り込むなどもお願いしたい。

清都委員

- ・外国人旅行者の困ったことで、ある程度改善されている問題もあるが、別の部分の改善に動いてもらいたい。
- ・外国人労働者を雇うと考えたときに食と住について面倒を見てあげないといけない。
- ・障害者対応について設備面でのサポートはある程度できてきたが、ソフトや人の対応の部分が課題。
- ・観光地としてふさわしい環境を用意していくには事業者だけでなく地域の人の協力が不可欠。
- ・オリンピック・パラリンピックの県内開催競技や県内に合宿をしてくれる国など相手の勉強が特に宿泊業では必要。

佐藤委員

- ・消費単価がワースト3位なのは現実として捉え、対策は総論などにも入れた方がいい。
- ・交通インフラ部分で、港湾についても木更津港・館山港で何をするなど具体的な記載できないか。
- ・戦略が4つあるうちプロモーションが2つというのは多すぎる。他の委員の話を聞いていると「広域化」や「観光の産業化」でもう1本柱にしたらどうか。
- ・推進体制で状況に応じた改変を行うと記載していただいたが「機動性」というのは意識してほしい

椎名喜予委員

- ・国も文化財を活用していくと言っているが、「活用」だけではなく「保存」や「承継」といった持続可能性も大事であると思う。
- ・地域の体制としても地域だけではできない部分について県にもう少し目配りをお願いしたい。

椎名誠委員

- ・「地域が主体となって」と記載があるが、県にも是非地域に飛び出して行ってほしい。
- ・市町村では予算が少ないところも多いので、市町村がうまく活用できる支援の仕組みがいる。
- ・成田空港など県主導でやる部分については方向性を示してもいいのではないか。

鈴木委員

- ・キャッシュレスはとても便利。お互いの国の貨幣価値でやり取りするので観光客も値段の価値が分かりやすいと思う。
- ・外国人労働者も国ごとに特色がある。ビザの更新など行政でサポートしてもらえればありがたい。
- ・メニューの多言語化もそうだが、町中の看板の多言語化も必要。
- ・まちが一つの方向を向けるようなタウンミーティングの場が作れるといい。

早川委員

- ・キャッシュレスについては業者が統合されつつある。
- ・アンケートについて、ある程度満足して帰っている人達の掘り下げが必要。
- ・ナイトコンテンツについて千葉はまだ弱い。

三富委員

- ・「繰り返し選ばれる」にしては中身が漠然としたイメージ。「千葉方式」ではないが、どうオリジナリティ作るか。
- ・市町村同士のイベントの日程調整を県でできるとよい。
- ・千葉県民はここがすごいという「ふるさと意識」の醸成がいる。
- ・フィルムコミッションは業者に便利に使われないような工夫が必要。

渡辺座長

- ・「観光地づくり」ではなく「観光地域づくり」にしたところは画期的だと思っている。
- ・データ整備、特にスピード感の部分も大事。またナイトコンテンツなど多様性の部分も大事。

加藤委員

- ・観光の中核神経はなにかと考えると経済効果を生むにはどうすべきかであると思う。

佐藤委員

- ・1つの方向性として「千葉らしさ」にまとめていくことは出来ると思う。

早川委員

- ・ナイトコンテンツするには道路の規制を緩めるなど必要。

石上委員

- ・地域の子供に地元のことを聞いても分からない子供が多い。そういう勉強する機会がないのではないかな。
- ・県庁所在地である千葉が魅力的になれば、千葉県民も千葉はいいところだと誇りが持てると思う。
- ・カフェ巡りをしているが田舎でもいいカフェが多い。
- ・千葉は生鮮の食材がいいだけに加工品が弱い。

鈴木委員

- ・加藤委員がおっしゃった「中核」というところがまちの「コンセプト」づくりなのではないかな。

渡辺委員

- ・地域のブランディングが大事。これは地域がやること。どういうまちにしたいのかな。

椎名委員

- ・農林水産部でいちごのPRをしているが、よく連携して行う必要がある。

渡辺委員

- ・オリンピック・パラリンピックのレガシーとして何を残していくのかも触れた方がよい。